

「時を守り 場を清め 礼を正し 来て良かった 行かせて良かった 五高定時制」

自分が決めた道を全力で突き進め！

We are like islands in the sea, separate on the surface
but connected on the deep.

～校長式辞より～

・・・はなむけの言葉を2つ贈りたいと思います。

まず1つ目は、自分の言葉で語る大切さについて。～中略～

今まさに、ITによって新しい産業革命のような動きが起っています。気候変動も進んでいます。ポピュリズムやグローバル化も進行して、世の中がどんどん変化し続けています。～中略～

我々は、こうした様々な事態を克服するために、何が大切かを考え、行動に起こす必要があります。私がマスメディアを通じて常々感じていることは、説得力と発想力の豊かさです。つまり、「自分の言葉で語ること」、「凝り固まった意見に新しい風を吹き込むこと」を恐れずに実践してほしいと思うのです。総体の意見と違うから、現実離れしているからと遠慮するのではなく、例え、それが的外れで間違った意見だったとしても言い逃れせず、認めるべきところは認め、議論を重ねていくことで突破口が開けます。理屈を超えた、とんでもないと思えるような意見を排除せず、大事にする姿勢こそ、これから生きていく鍵になるのだと思います。ぜひ、堂々と、自分の言葉を発信できる人になってもらいたいと願います。

2つ目は、「努力」と「協力」について。～中略～

努力とは、「力を尽くして励むこと」。協力とは、「力を合わせて事にあたること」とあります。力を尽くすには、成し遂げたいと思える目標が必要です。力を合わせるには、共通の目標を持つ仲間が必要です。「努力は足し算、協力は掛け算」という言葉がありますが、その心意気を発揮するにも目標を持つことが大切です。目標がないところには、「努力」も「協力」も生まれません。

目標に向かって、1人ひとりが努力を積み重ね、互いに励まし合い高め合う、そうした姿勢を大切にしたいと思っています。そして、1歩前に進むときは、一瞬立ち止まって、それは本当に前なのか、もしかしたら右や左に曲がっていないか、自分自身で考え判断しなければなりません。皆さんには、これから新たなステージに進み、新たな目標を設定して、また1段、深く考えられるようになることを期待したいと思っています。

「努力」と「協力」する態度を貫き、いかなる困難にも「自分の言葉で語ることのできる」自分を創り上げていてもらいたいと思います。

この先、周りと比べてみたり、この道は自分に向いていないんじゃないかとか、悩んだり落ち込んだりすることがあると思います。そういうときは、今、自分がやるべきこと、やりたいことに全力を尽くしてみることで、自分の代わりはいくらでもいるし、いつ何が起きるかもわからない。時間は刻々と過ぎていくので、落ち込んでいる暇もなければ、比べる暇もない。今に全力を尽くしていれば、そんな迷いも生じません。辛抱して全力で続けるうちに、きっとやり甲斐が見えてきます。

時間を1秒でも大切に、人と比べずに、自分が決めた道を全力で突き進んでほしいと思います。

～ 送辞より 在校生代表 島 雅晴 ～

・・・高校生活の四年間、または三年間、先輩方は学校と仕事の両立をしてこられました。厳しい環境だったかもしれませんが、他の高校の同級生より一歩早く社会の厳しさを学んだ先輩方の姿は私たちにはとても頼もしく感じられます。自分の夢に向かって努力している先輩方の姿を見て、私たちも継続することの大切さを学びました。

先輩方は四月から、それぞれの選んだ道に進んでいけます。時には道が険しく、不安でくじけそうになることもあるかもしれませんが。その時は、共に過ごした仲間や私たち後輩、そして先生方のことを思い出してください。

先輩方はいつまでも私たちの憧れの存在です。これからも私たちの一歩前で輝き続ける存在でいてください。私たち在校生も先輩方に追いつけるように努力を重ね、より良い学校を作っていこうと思います。



～ 答辞より 卒業生代表 矢口 光涼 ～

・・・さまざまな出来事の中で、学校を続けることが辛いと感じることもあるかもしれません。私たちも、四年間、または三年間の高校生活がいつも順風満帆だったわけではありませんでした。学校とアルバイトを両立する生活がきつと思った時、授業についていけない時、人間関係に悩んだ時、自分の目標を見失った時、私は、逃げ出したい、学校をやめたいと思いました。

そんな時、私にとって支えになったのは「保育士になりたい」という夢でした。この夢をあきらめなくなかったから、私は学校を続けました。続けることで開ける道が、必ずあります。まずは、目の前のやるべきことから逃げずに、一つ一つ取り組んで、高校を卒業してほしいと思います。卒業をすることで自分の道を切り開き、ぜひ、目標を成し遂げ、夢を叶えてください。

最後になりますが、私たちがこのように多くのことを学び、卒業の日を迎えることができたのは、支えてくださった皆様のおかげです。地域の皆様には、さまざまな学校行事でお世話になり、温かく見守っていただきました。先生方は、自信のないことから逃げようとする私を「あなたなら大丈夫。」そう励ましてくださいました。事務室の先生方は、細やかなお心遣いで常に学びやすい環境を整えてくださいました。

そして、幼い頃から成長を見守り続けてくれた家族。学校に行けなかった時期、心に余裕がなくて、辛くあたたかこともありました。卒業まで通いとおせるか、私自身もわからず、きっと家族もそうだったと思います。しかし、辛抱強く見守ってくれました。感謝の気持ちは尽きません。

ここであらためて、支えてくださった皆様に厚くお礼申し上げます。



～ 卒業式の様子 ～



3月の主な行事予定

- | | |
|-------------------------|-----------------------|
| 2日(水)・3日(木) 特別時間割(答案返却) | 18日(金) ボランティア清掃活動 |
| 4日(金) 大掃除 | 浜田海岸 9:20～12:10 予定 |
| 7日(月)・8日(火) 生徒自宅学習 | 22日(火) 校内スポーツ大会・専門委員会 |
| 9日(水) 17:00 まで敷地内立入禁止 | 23日(水) 課題配布・LHR・大掃除 |
| 10日(木) 15:00 まで敷地内立入禁止 | 24日(木) 終業式・離任式 |
| 11日(金) ④主権者教育 | 25日(金) 生徒立入禁止(～28日) |
| 16日(水) ②校内漢字検定 | 春季休業(～4/7) |
| 五島市合同企業説明会 | |

- | |
|---------|
| SC 来校日 |
| 3/14 |
| 3/22 |
| SSW 来校日 |
| 3/2 |
| 3/9 |
| 3/16 |
| 3/23 |

あここの古木は、月下に学ぶ若人をずっと見守っている。
学びと勤労の両立をやり遂げたあなたは五島(ふるさと)の誇りです!